

取扱注意

G7 広島サミット消防特別警戒

実態調査要領

G7 広島サミット消防・救急対策委員会

第1 目的

G7広島サミットの防火安全対策に万全を期すため、広島市内における要人の利用が想定される施設の位置関係の把握のほか、首脳会議場及び広島空港の形態、特徴、火災危険等を把握するとともに、関係消防本部及び当該施設関係者との緊密な連携を図ることを目的とする。

第2 実施消防本部及び実施対象（区域）

下表に示す実施対象（区域）について、各実施消防本部の応援予定職員が実施する。

消防本部名	実施対象（区域）
岡山市消防局 大阪市消防局 堺市消防局 熊本市消防局	広島市内
広島市消防局 廿日市市消防本部 大阪市消防局 福岡市消防局	首脳会議場 (グランドプリンスホテル広島)
三原市消防本部 福山地区消防組合消防局 尾道市消防局 東広島市消防局 神戸市消防局 北九州市消防局	広島空港

第3 実施日

令和5年4月19日（水）

第4 調査内容

1 広島市内

広島市内における要人の利用が想定される施設の位置及び統括警戒本部から当該施設へ至る経路等について調査する。

2 首脳会議場（グランドプリンスホテル広島）及び広島空港

別紙「実態調査項目」により各施設を調査する。

実態調査項目

確認項目		概要	
建築物の状況	防災センター	防災センターの設置場所	予防警戒活動の拠点となる防災センターの場所について確認する。
		警戒区域設定状況	警戒区域の設定状況について、受信機及び警戒区域図を確認する。
	避難施設	直接屋外へ通ずる出入口の位置	避難経路の把握のため、直接屋外へ通ずる出入口の位置、直通階段の位置、これらに至る通路の位置を確認し、避難経路を確認する。
		直通階段の位置	
		直接屋外へ通ずる出入口及び直通階段に至る通路の位置	
	防火区画	防火区画形成位置	防火シャッター閉鎖時における避難経路の把握のため、防火区画の形成位置とくぐり戸の位置を確認する。
		くぐり戸の位置	
	消防用設備等	設置されている消防用設備等の設置位置	火災等発生時の使用を想定し、各消防用設備等の設置位置及び操作方法について確認する。 首脳会議場：消火ポンプ室、スプリンクラー制御弁、避難器具等 広島空港：消火ポンプ室、スプリンクラー制御弁、泡消火設備手動起動装置及び制御弁、避難器具等
	火気設備 電気設備 危険物施設 ガス貯蔵施設	各設備の設置位置	火災の発生要因や延焼拡大要因となりえる場所について把握するため、火気設備等の設置位置について確認する。
	防火・防災 管理体制	自衛消防の組織	自衛消防の組織の構成、任務分担、指揮命令系統について確認
火災発生時の 初動体制		火災等災害が発生した際の消火活動、通報連絡、避難誘導に係る計画について確認	施設関係者から、火災等災害が発生した際の消火活動、通報連絡、避難誘導に係る計画について聴取する。
外国人の 避難誘導対策		火災等災害が発生した際の外国人の避難誘導方法の確認	施設関係者から、火災等災害が発生した際の外国人の避難誘導方法（非常放送の外国語放送など）について聴取する。
建物周囲の状況	要人の移動が想定される経路の確認	施設関係者から、要人の移動が想定される経路について聴取し、確認する。	